

## サラ・カーメル

Sara Camel

ILCイスラエル理事長

ロバート・バトラー博士は、老年学及び老年医学の基礎を築いた偉大な人物の一人であった。彼の科学的著書は、イスラエルだけでなく、世界中の多くの専門家に大きな影響を与えた。彼が残した足跡である二つの理念とタームが、「エイジズム」と「ライフレビュー」である。これらは1960年代以降、広く普及し、研究されてきた。私は学生たちに、イスラエルにおけるこれらのテーマについて研究するように勧めてきた。それは、私たちの知識と理解を高め、イスラエルの高齢者QOLの向上のために彼らが積極的に関与することを期待したためである。

ある博士課程の学生は、現在、終末期のガン患者のウェルビーイング（安らぎのある生活）について、ライフレビューの効果を調査している。また、ある研究グループは、イスラエルにおけるエイジズムに取り組んでいる。この研究グループの初めての論文集が来年、エルサレムのVan Leer研

究所からヘブライ語で発行されることとなった。

ロバート・バトラー博士は、先駆者、医師、科学者であるとともに、世界の多くの高齢者のQOL向上に向けて献身的に行動を続け、私たち皆を鼓舞してくれた。

バトラー博士はまた、世界中のエイジング専門家の偉大な支持者でもあった。バトラー博士を失ったことは、世界各地のエイジング問題に献身的に取り組んでいるグループにとって非常に大きな打撃となっている。

ILCイスラエルはバトラー博士と直接知り合う機会を得られたこと、また世界の高齢者の生活の向上という私たちの究極の目標を達成するために共に活動できたことに感謝している。

バトラー博士の構想、研究そして遺志を引き継いで協力を続けて行くことが、ILCグローバル・アライアンスメンバーである私たち全員の課題である。



バトラー博士(右)と筆者